

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 2 月 10 日作成)

委員会名	J A S S 1 7 (ガラス工事) 改定小委員会	主 査 名：吉田倬郎
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (内外装工事運営委員会)	委員長名：嵩英雄
設 置 期 間	年 月 ~ 2 0 0 4 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	J A S S 1 7 (ガラス工事) 改定	
委員構成 (委員名 (所属))	吉田倬郎 (工学院大学) 角田誠 (東京都立大学) 高原正弘 (板硝子協会) 井上祝 (セントラル硝子) 大野啓二 (久米設計) 小野正 (清水建設) 北野康夫 (YKK) 倉斗道夫 (日本設計) 近藤康年 (国土交通省) 清家剛 (東京大学) 田中征人 (全国板硝子工事協同組合連合会) 檜垣恭一 (戸田建設) 平岡靖和 (旭硝子) 諸橋雅晴 (新日軽)	
設置 WG (WG 名：目的)	共通部執筆 WG、はめ込み構法執筆 WG、ガラススクリーン構法執筆 WG、SSG 構法執筆 WG、張り付け構法執筆 WG、ガasket シーリング執筆 WG	
2003 年度予算	50,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	(2002 年 4 月 15 日・12 人) (5 月 9 日・WG・8 人) (5 月 19 日・14 人) (7 月 9 日・WG・7 人) (12 月 5 日・講習会)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 改定 JASS 17 の刊行 講習会の開催
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初の予定よりは延びたが、首尾良く改定 JASS 17 を刊行し、講習会を開催した。
その他評価すべき事項	改定内容について、この 10 年間に技術的にも機能的にも変化が大きかったのガラス工事の動向を、実績を踏まえて反映した。 講習会は、東京、大阪とも、盛況であった。